

千西一遇 号外

2015年 7月28日 (火)
発行 上田西高校 新聞委員会
代表 羽毛田果歩

甲子園出場 返り咲き

2年ぶり 2度目の優勝果たす

佐久長聖
上田西
000100001000
1X0
21

勝利が決まり、十回裏三井が左越え適時打、ホームベース付近に駆け寄る西高ナイン



平成27年7月26日午前10時より、松本市野球場で第97回全国高校野球選手権大会決勝戦が行われ、見事上田西高校が勝利し、甲子園への切符を手に入れた。7月1日より始まった長野県大会だが、上田西は、準々決勝まで全てコールド勝ちという結果。そして25日に準決勝にて松商学園を破り、2年ぶりの決勝進出を果たした。決勝戦は、甲子園出場常連校である佐久長聖との試合。最高気温35.8度となる炎天下の中、2年ぶり、そして2度目の甲子園出場をかけた試合が始まった。

先制点は上田西。三回裏の攻撃でランナー三塁にて三井の左前適時打で一点を先制。しかし六回表で佐久長聖が適時三塁打を打ち、同点に。1-1の同点のまま九回が終了し、試合は延長戦へと持ち込まれた。そして迎えた十回裏。緊迫する状況の中でも落ち着いた投球を見せるピッチャー草海。たじろがない試合を見せる上田西に流れは傾く。先頭打者の河野が二塁打を打ち、無死二塁。続く齋藤はバントの構え。これを見た長聖バッテリーは齋藤を敬遠。ランナー一、二塁になり、打席には先制打を放った三井。カウント1-1から真ん中高めのスライダーを捕えた打球はぐんぐん伸び、左翼手の頭上を越えるサヨナラ二塁打となった。

三井が打ち、甲子園出場が決まったその瞬間、会場に大きな歓声が沸いた。仲間と共に喜び合う選手の間には涙と笑顔が見られ、その中の校歌斉唱は、聴く者が感動で胸がいっぱいになるものだった。

甲子園の組み合わせ抽選会は8月3日で、開幕は6日。初戦を突破し二年前の雪辱を果たすことができれば、新たな西高のページが刻まれることとなるだろう。

ベンチ入りメンバー

決勝戦	先発メンバー
【遊】	河野 誠也
【二】	齋藤 尊志
【一】	三井 崇平
【三】	大藪 将也
【中】	松本 大亮
【捕】	野口 雅史
【左】	小林 亮太
【投】	草海 光貴
【右】	関口 大輔

監督 原白井 公道彦

記録員 倉田尚紀

②①
草海 光貴
野口 雅史
三井 崇平
齋藤 尊志
大藪 将也
大野 誠也
松本 大亮
野村 祐樹
今井 晃
西澤 介
齋藤 響
柳沢 陽平
工藤 玲央
寺島 尚紀

『躍動』『笑顔』



決勝戦
フォト・スナップ

